

# 献身プレー／出色！読みの鋭さと正確なフィード健在



DF 永田 充

好調支える守備陣

J2東京Vは今季、国際スポーツ振興協会（ISPS）とメインスポンサーパートナー契約を締結。ユニホームの胸に「ISPS HANDA」のロゴをつけて戦っている。



4連勝中の好調なチームを支えるDF永田

2014シーズンから掲げてきた「ONE FLAG」を引き続きクラブスローガンとし、今季もヴェルディファミリー全員がひとつになって戦っていく。さらに、サブスローガンを「KIZUKU」とし、チームが今まで積み上げてきた土台の上にさらに「築く」こと、そして新しいものに「気付く」ことをテーマとしている。

スペイン人のロティーナ監督を招聘するなど、新しいことを積極的に取り込んでいきながら、クラブとしてチームとして大きく成長することを目指す東京V。本紙は名門復活を目指すチームに注目し、その戦いぶりと顕著な活躍を見せた選手をシーズンを通して紹介していく。

開幕から約1カ月。年頭の新体制発表会では、ISPS半田晴久会長が「J1昇格と位置に浮上した。」

4試合連続得点のアラン・ピニエイロを核とする攻撃陣が好調だが、本紙はそれを支える守備陣に注目。特に、今季浦和から新加入したDF永田充の献身プレーは出色。6日に34歳の誕生日を迎えるが、読みの鋭さと正確なフィードは健在だ。柏、新潟、浦和でJ1通算272戦6点、日本代表でAマッチ2試合出場の経験を存分に発揮している。

3月25日の第5節、ホームの岐阜戦では前半29分に絶妙のキャパリングで失点を阻止。永田が、今季2点と得点力もある井林、対人プレーに強い平と組む3バックはGK柴崎との連携もよく、計5試合で1失点、現在4試合連続無失点と結果を残している。昨年、J2で18位と苦しんだことがウソのような快進撃。2008年以来10年ぶりとなるJ1復帰も十分視野に入る戦いぶりで、ロティーナ監督は岐阜戦後に「相手が出てきたがしっかり守備もできた。価値のある勝利」と喜んだ。

首位湘南を勝ち点1差で追う理想的な展開。百戦錬磨の男・永田が今後もチームを支えていく。（次回は4月29日掲載予定）